



Sysdig モニタ一入門





本文の内容は、Getting Startedのドキュメント (<https://docs.sysdig.com/en/getting-started.html>)を元に日本語に翻訳・再構成した内容となっております。

Sysdig モニター入門	3
Sysdigモニターインターフェイスへのアクセス	3
Sysdigモニターインターフェイス	3
Sysdig Spotlightにおいて統合を管理する	5
統合を追加	5
統合を削除する	7
困ったときは	7
次のステップ	7



Sysdig モニター入門

このトピックは、Sysdig Monitorインターフェースのナビゲートに関して説明しています。

Sysdigモニターインターフェイスへのアクセス

インターフェイスにアクセスするには、Sysdigエージェントをインストールする必要があります。

Sysdigエージェントのインストール手順については、[エージェントインストール](#)のドキュメントを参照してください。

- エージェントインストールのウェルカムウィザードの一部として、コアの管理者資格情報となるユーザーID（電子メールアドレスに基づく）とパスワードを作成するように求められます。
- エージェントのインストールが完了すると、Sysdig モニターインターフェイスが <https://app.sysdigcloud.com>で利用可能になります。
- 後続のユーザーは、Sysdigモニターまたは統合認証ツールを使用して、ユーザー資格情報も定義する必要があります。

ユーザーの作成については、[ユーザーとチームの管理](#)を参照してください。

Sysdigモニターインターフェイス

エクスプローラーモジュールは、Sysdigモニターを使用したすべてのトラブルシューティングの主要な開始点であり、すべてのユーザー向けのWebインターフェースのデフォルトのホームページです。インフラストラクチャ全体の正常性の概要が表に表示され、さまざまなインフラストラクチャコンポーネントが構成済みの階層グループに分割されています。

注意

グループ化は、ユーザーがインフラストラクチャーを論理セクションに分割して問題を見つけ表示できるようにする階層的な集約です。デフォルトのグループ化は、`host.hostName`→`container.name`です。

グループ化の詳細については、「[メトリクスのグループ化、スコープ、およびセグメント化](#)」セクションを参照してください。

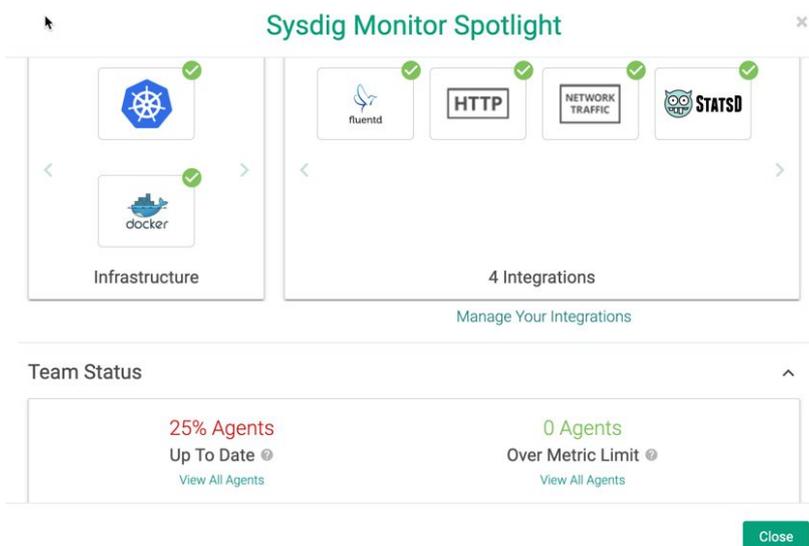
左側のメニューから、ユーザーメニューとSpotlightに加えて、Sysdig モニター内の5つの主要モジュールにアクセスできます。

モジュール	説明
Explore	エクスプローラーモジュールは、インフラストラクチャー全体の詳細な概要と、問題のトラブルシューティングを行うためのメトリクスとダッシュボードを詳しく調べる機能をユーザーに提供します。
Dashboards	ダッシュボードモジュールを使用すると、ダッシュボードを作成、変更、共有できます。詳細については、ダッシュボードのドキュメントを参照してください。
Alerts	アラートモジュールを使用すると、Sysdig モニターで設定されている現在のアラートを作成、変更、有効化/無効化して、インフラストラクチャーの問題を効果的に特定できます。詳細については、アラートのドキュメントを参照してください。

Events	イベントモジュールは、インフラストラクチャー内でアラートをトリガーしたイベントの詳細なリストを提供します。 詳細については、イベントのドキュメントを参照してください。
Captures	キャプチャーページには、Sysdigモニター内で作成されたキャプチャーファイルの完全なリストが表示されます。 詳細については、Capturesのドキュメントを参照してください。

Sysdig Spotlightにおいて統合を管理する

Sysdig Spotlightは、インフラストラクチャーの現在の状態の概要を一目で提供し、監視するアプリケーションの設定に役立ちます。

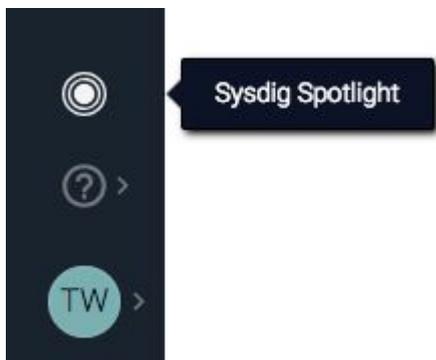


個別に設定する前に、Sysdig Spotlightを介してSysdig Monitor統合を管理します。

統合を追加

新しい統合を追加するには：

1. 左側のサイドバーの管理セクションにあるSpotlight（ターゲット）アイコンをクリックして、Sysdig Spotlightを開きます。



2. [\[Manage Your Integrations\]](#)リンクをクリックします。
3. 追加する統合を選択するには、関連するアイコンを選択するか、統合を検索してから関連するアイコンを選択します。複数の統合を一度に追加できます。
4. [\[Add X Integration/s\]](#)ボタンをクリックして、統合をSysdigモニターに追加します。

設定が保留中の統合には、警告記号が付いています。

The 'Manage Integrations' interface is shown with a title bar and a close button. It is divided into three sections: 'Integrations That Need Attention' (empty), 'Running Integrations' (containing fluentd, HTTP, NETWORK TRAFFIC, and STATSD, each with a green checkmark), and 'Available Integrations' (containing a grid of 14 integration icons: ActiveMQ, a feather, CouchDB, java, APACHE HBASE, kafka, a person with a shovel, cassandra, a purple circle, redis, Couchbase, elastic, etcd, and Gearman). At the bottom right are buttons for 'Add Integrations', '< Back', and 'Close'.

設定とサポートされるアプリケーションについては、[Sysdig統合](#)ドキュメントを参照してください。

統合を削除する

既存の統合を削除するには：

1. Spotlightページから、削除する統合を選択します。

注意

実行中の統合は削除できません。

2. **[Remove X Integration(s)]**ボタンをクリックします。
3. **[Remove]**リンクをクリックして、変更を確認します。

困ったときは

メニューで利用可能なすべてのオプションについては、困ったときは  を参照してください。

次のステップ

ユーザーがインターフェースを開いたら、さまざまな方法で追跡できます。

- [エクスプローラー](#)
- [ダッシュボードを作成する](#)
- [メトリクスを使ってみる](#)